


接着系アンカー(無機系・回転打撃型・チューブ式)

認証取得者 所在地 連絡先	株式会社 ケー・エフ・シー 〒530-0047 大阪市北区西天満3-2-17 Tel:06-6363-4126 Fax:06-6363-3128	
商品名	エスアールタイト	
接着剤の材質	プレミックス特殊セメントモルタル	
認証種類	タイプ B	
認証番号	第16-0003号	
認証有効期間	平成28年12月2日～平成33年12月1日	

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 [mm]	カプセル長 [mm]	内容量 [g]	アンカー筋	ドリル径 [mm]		穿孔深さ [mm]	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
SR-13	13 ±1	110±5	26 - 0 +2.6	D13	16	- 0~+0.2	130	- 0~+6.5
SR-16	16 ±1	120±5	38 - 0 +3.8	D16	20	- 0~+0.2	160	- 0~+8.0
SR-19	19±1	150±5	70 - 0 +7.0	D19	24	- 0~+0.2	190	- 0~+9.5
SR-22	22±1	170±5	110 - 0 +11.0	D22	28	- 0~+0.2	220	- 0~+11.0
SR-25	25±1	240±5	200 - 0 +20.0	D25	32	- 0~+0.2	250	- 0~+12.5

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm ²	規格降伏点 N/mm ²		伸び率 %	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16~40	D25 未満	D25 以上
SD295A	JIS G3112	440~600	295 以上		16 以上	18 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上	20 以上

2. アンカー筋の適用範囲

種類	製品仕様		試験に用いた仕様	
	材質	サイズ	材質	サイズ
異形棒鋼	SD295A SD345	D13~D25	SD345	D13~D25

3. アンカー筋のねじの等級

該当無し。

接着系アンカー(無機系・回転打撃型・チューブ式)

認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器		材質	不織布				
				形状	別添資料による。				
				寸法・許容差	別添資料による。				
	項目 2	接着剤関連	材質	主材	プレミックス特殊セメントモルタル	硬化材	水	骨材	珪砂7号
			強度	$\tau_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} : 付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)					
	項目 3	物性	圧縮強さ	29.4N/mm ² 以上		引張り強さ	-		
曲げ強さ			4.9N/mm ² 以上		圧縮弾性係数	-			
項目 4	アンカー筋関連	種類	異形棒鋼: D13~D25 (JIS G3112 鉄筋コンクリート用棒鋼) 別添資料による。						
		先端形状	先端斜めカット						
		外観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないなど、アンカー筋表面に定着を阻害するものがないこと。 2) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。						
項目 5	材質	異形棒鋼: SD295A, SD345 (JIS G3112 鉄筋コンクリート用棒鋼) 別添資料による。							
項目 6	表面処理	無し。							
	強度	降伏点・引張り強さ・伸び率	別添資料による。						
	ねじ等級	該当無し。							
製品	項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。						
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。						
	項目 9	母材の種類	普通コンクリート						
	項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下						
	項目 11	環境条件 (固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。						
	項目 12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式(1) から式(3) に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{oc} = 0.23\sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式(1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell_e$ …式(2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_0$ …式(3) [記号] T_{oc} : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) ($=\pi \cdot \ell_e \cdot (\ell_e + d_a)$) T_{cb} : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a : 付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 ($=10\sqrt{\sigma_B/21}$) ℓ_e : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) ($=L - d_a$) L : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a : アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) ($=1.1\sigma_y$) σ_y : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_0 : アンカー筋の最小断面積 (mm ²)						
項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min. \{2/3 \cdot T_{my}, 0.4 T_{oc}, 0.4 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 δ が、0.3 mm 以下 $\min. \{T_{my}, 0.6 T_{oc}, 0.6 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 δ が、1.0 mm 以下 [記号] T_{my} : アンカー筋の降伏引張耐力 ($=\sigma_y \cdot a_0$)							
項目 14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_B \cdot s_a a_0}$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{tu} \geq (\sigma_u/\sqrt{3}) \cdot s_a a_0$ [記号] Q_{mc} : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) $s_a a_0$: アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{tu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)							
項目 15	せん断剛性	0.6 Q_{mc} 時又は 0.6 Q_{tu} 時における水平変位量が 5mm 以下又は 0.3 d (d : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。							

[注] 項目 1~15 は、評価認証審査項目を示す。